

【指定工場向け】検査用スキャンツール(機器)の届出について

令和6年10月21日

OBD検査を実施する指定工場においては、(一社)日本自動車機械工具協会が公表する検査用スキャンツールを備えて「指定自動車整備事業の変更届出書 第2号様式(指定)」の届出が必要となります。

今般、届出済みの指定工場において、実際に備付けられているスキャンツールと届出された内容が一致していない事例がありました。検査用スキャンツールは、(一社)日本自動車機械工具協会が公表する『型式、ファームウェアのバージョン、ドライバのバージョン』の3項目すべてが一致していなければ、検査機器として使用することはできません。

これから届出をされる指定工場の皆様におかれましては『型式、ファームウェアのバージョン、ドライバのバージョン』が(一社)日本自動車機械工具協会が公表する内容と一致していることがわかる写真の添付をお願いいたします。

また、下記①～③及び別紙の記載例を参考にして届出書及び添付資料を作成していただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

① 準備について

自動車技術総合機構のOBD検査システムへの事業場・利用者登録

特定DTC照会アプリのダウンロード・インストール

(一社)日本自動車機械工具協会が公表する検査用スキャンツールの設置

② 届出書記入にあたっての注意事項

・認定された検査用スキャンツールでなければ届出できませんので、(一社)日本自動車機械工具協会のホームページからご確認ください。

・検査用スキャンツールの備付日は機器の購入日ではなく、(一社)日本自動車機械工具協会ホームページより『型式、ファームウェアのバージョン、ドライバのバージョン』を確認した日を記入し、30日以内に届出してください。

③ 添付資料について

・検査用スキャンツールの『型式、ファームウェアのバージョン、ドライバのバージョン』がわかる写真を添付してください。(次のページに写真の例を載せています)

・『型式、ファームウェアのバージョン、ドライバのバージョン』の確認方法がわからない場合は、ツールメーカーへお問い合わせください。(インターネットで「J2534 バージョン確認」と検索すると一部のメーカーについては確認できます。)

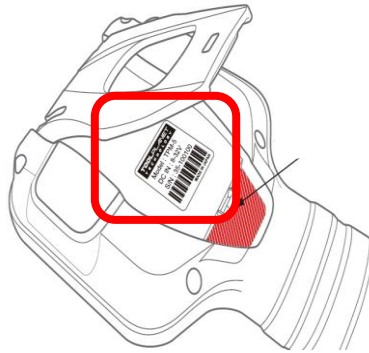
・OBD検査対象車を検査した後であれば、特定DTC照会アプリから使用したVCI情報(型式、バージョン等)を確認することができます。

【添付資料の例】

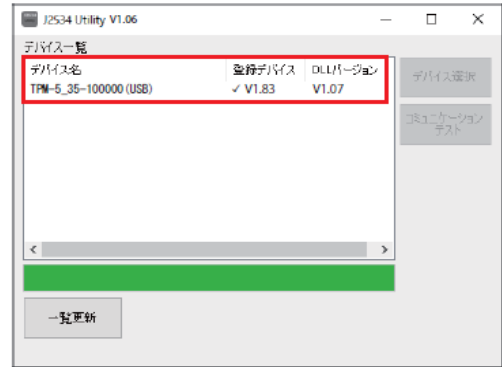
○スキャンツールで確認する場合。



スキャンツール全体



本体で型式がわかる写真



ファームウェアとドライバのバージョン情報

↑本体に型式の表示がない場合はパソコンの画面上等でわかる資料を添付。

○特定DTC照会アプリで確認する場合

検査用スキャンツール情報

検査で使用した検査用スキャンツール情報(VCI情報)は以下のとおりです。

項番	項目	内容
1	型式	A-AA100
2	製造番号	9876543210
3	メーカー名(規格Ver0404)	A_tools
4	ドライババージョン(規格Ver0404)	1.11
5	ファームウェアバージョン(規格Ver0404)	1.22
6	メーカー名(規格Ver0500)	
7	ドライババージョン(規格Ver0500)	
8	ファームウェアバージョン(規格Ver0500)	
9	ISO13400(DoIP)	-

【問い合わせ先】

沖縄県自動車整備振興会 指導課 TEL:098-877-7065

陸運事務所 整備部門 TEL:098-875-0300

【参考サイト】



👉 (一社)日本自動車機械工具協会 HP



👉 検査用スキャンツールのVCI確認方法

è #ÝGGG;GqG•GRGŠGy0¿*(Fû FÖ æ +-
Z ! Fp š f † iFp0°3U [



† *... FÿF, ¶ Ç ! F÷FÒG G ! zFp ¶ j IG + dG"0° °F¹
2 ÇF÷FÒG G 2 Ç jH æ/²*... ¶ j IG 2 Ç d ~ ...G"0° °F¹

fl Ł
fl Ł

			6	10	21

fl Ł

µ pFp3ã •G% š fG% ë FÿFäFñG Fû

FpGhGŠGFFpFÂ Ü ° v ¶FÃFø Fè ¶
G"0°3UFçFöFßFðFâFÔF¹

!

fl Ł

!

fl Ł

